

令和3年11月24日

秋田しらかみ看護学院  
学院長 田口牧子 様

学校関係者評価委員会委員長

### 学校関係者評価委員会報告

令和3年度「学校関係者評価」について、下記の通り評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員会 委員

委員長 1名  
委員 3名

#### 2 学校関係者評価委員会審議日程

第1回	令和3年 9月29日 (木)	自己点検・自己評価の送付・審議
第2回	令和3年10月18日 (月)	自己点検・自己評価の評価・提出
第3回	令和3年11月24日 (水)	学校関係者評価報告

#### 3 学校関係者評価委員会報告

別紙の通り

# 学校関係者評価一覧(2021年度実施結果)

## I 教育理念・教育目的

4.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・学院の行事の中に身を置き、その様子に感動するこれまでとは異なる連日“コロナ禍旋風”の襲来である。それ故、評価には難がある。しかし建学の精神に基づき汗する学院長はじめ教職員の方々には大きな拍手である。当然学ぶ側の「秋田しらかみ看護学院生」にも。</li><li>・本学院の建学の精神と共に多様性を求められる社会に対応している。</li><li>・現代社会が直面している医療・保健・福祉の問題に対応できる看護師の養成を教育の根本とするという理念に基づきその育成に努力している。</li><li>・看護専門職としての知識修得技術向上だけでなく、自己の人間形成に重点をおいており未来を担う若者の育成に力を入れている。今後は時代の大きな変化を鑑みすることも必要。</li></ul>
-----	---

## II 教育課程

3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・“コロナ禍”の中、教育課程、計画通りということは当然できなかつたと記されていたが、それを考えてのリモートやシミュレーションは評価できる。</li><li>・「コロナ禍の感染対策」を重視した十分な運営とリモート講義を実施していることは大変評価できる。</li><li>・シラバスを作成して教育内容を明示することは学生にとって学習の流れをつかむことができてよい。</li></ul>
-----	--

## III 教育活動・教育指導のあり方

3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・国家試験合格率の高さは当学院の輝く姿である。そのため、学生と直に向かい合う「講義までに汗する時間を十分に」と考える時間は長時間になると思われる。“教材研究”の時間は満たされているか。</li><li>・「十分な時間」を「どのように」は大きな課題。合格率の高さは、指導する教師の汗にも比例する。</li><li>・「アドミッションポリシー」「カリキュラムポリシー」の内容に沿って教育がなされている。コロナ禍により通常の対面教育ができない中の教育指導は大いに評価できる。</li><li>・入学者の基礎学力の低下が年々顕著となる状況の中で、先生方は看護師国家試験の全員合格達成のために強い使命感を持って取り組み実現している。</li><li>・前年から引き続いてのコロナ禍と基礎的学力不足の入学生が多いという現実の中で、国家試験合格率97.5%という結果は素晴らしいと同時に、学院の教職員の並々ならぬご尽力と「しらかみモデル」が確実に形成されている。</li></ul>
-----	--

## IV 組織・管理運営

3.5	<ul style="list-style-type: none"><li>・各人が、自分の任務のままで長年に渡りその職務をベテランとして遂行することはスムーズに事が運ぶが、「次のために」ということも考え、“育てる”“つながる”という面からも部門によっては複数(二人)にしてもと考える。</li><li>・学院の管理運営は、理事会、評議員会、学校関係者評価委員会により、「見える化」され、十分に評価できる。</li><li>・学生の健康管理がよくされている。</li><li>・災害時等の対応にも取り組みが必要と考える。</li><li>・組織的には全く問題なく運営されている。</li><li>・教員業務の負担が増す傾向とあるため検討が必要。</li></ul>
-----	--

## V 学生生活への支援

3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・退学者・留年者が少なく、“学ぶ心”が育っている。</li><li>・就職支援や指導が家族にも伝わっていて評価できる。</li><li>・行事の中止、縮小が続く中で、医療機関と学院内でのリモート面接など迅速な感染対策は評価できる。</li><li>・臨床心理士のいる学生相談室があるのは学生にとっては大変心強いと思うが、実際の利用度はどれくらいか。</li><li>・卒業生アンケートに、教育・学習支援などについて満足し感謝している学生が多いことは評価できる。</li><li>・学生のアンケート結果をもとに、学生と同じ年代の考え方、生き方を理解し寄り添うための方策を探ることも必要。</li></ul>
-----	--

## VI 施設設備

3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・学びの場としての図書館の運営やその管理がすばらしく、蔵書もあり“学習する場”“学びの場”を感じるが、その活用は十分か。校舎の施設利用も評価できる。次回は施設設備も含め授業の参観をしたい。</li><li>・学生たちが安心して学習に専念できる環境づくり、教員の職場環境づくりが顕著に向上している。</li><li>・専任の司書を配置しての図書室の開設は充実している。</li><li>・学生たちの要望や不満を感じていないかを参考にすることも必要。</li></ul>
-----	---

## VII 学生の受け入れ

3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・“適切な学生への指導”は、この学生を受け入れたという使命感をも呼びおこす。その思いは日々の学生への生活面、学習面へと“教える側の眼”として心も行き届くと感じる。</li><li>・説明会のあり方、学院祭での活動、地域での活動など、これまでの活動に倍して学生の受け入れをという強い思いを全職員に望む。</li><li>・合格率、県内就職率ともに高い成果と実績を重ね、十分な地域貢献を果たしている。</li><li>・少子化で学生受け入れのため苦勞されていることが学校訪問スケジュール表で見えてとれる。オープンキャンパスが学生の獲得につながっているようだが、コロナで中止になり残念に思う。</li><li>・入試委員会が中心となって学校訪問、説明会など数多く行われており、忙しい中、鋭意努力されていると高く評価する。</li><li>・学院の独自性と学院での学び得ることの確実さを、各学校の生徒や進路担当者へこれまで以上に伝えていただきたい。</li></ul>
-----	--

## VIII 卒業生の状況

3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・卒業後の在り方は、国家試験合格率100%の連続2年間の実績や90%以上の看護職選択という現実から理念と目標の一致をみることができる。日々の指導「人としての在り方、看護を旨とする人の在り方」活かされている。</li><li>・合格率、県内就職率ともに高い成果と実績を重ね、十分な地域貢献を果たしている。</li><li>・県内の就職率が高く地域社会に仕えるという目的が達成されている。</li></ul>
-----	--

## IX 社会への貢献

3.5	<ul style="list-style-type: none"><li>・これまでのボランティア活動や「天空の不夜城」「おなごりフェスティバル」等に『しらかみ看護学院』ここにありとの感動を強く心に残した。「地域と共に」を感じたからである。またこの感動で「社会貢献」を心に刻みたい。</li><li>・看護学生の多忙さに驚き、その中での社会貢献は難しく、無理のない範囲で地域活動を目指していただきたい。</li><li>・コロナ禍であり、今年度は学生消防団が活動できなかったことは残念に思う。</li><li>・地域社会の健康づくりに貢献している。</li></ul>
-----	---

## X 研究・研修活動

3.5	<ul style="list-style-type: none"><li>・“コロナ禍”の中で外に対しての研究・研修活動は少なかったとしても、自分たちの“掌中の珠の学生”と共に活動できたことに喜びを得たと感じる。</li><li>・「新型コロナウイルス感染症」により従来の活動ができない社会に変化したが、「地球家族」の一員として「SDGs」を視野に質の高い教育を旨とし「地球上の誰一人とり残さない」社会の構築を要望する。</li><li>・コロナ禍のなか、オンラインで学会や研修会に参加しており評価できる。</li><li>・能代市のファミリーサポーター・託児サービス支援員養成講習会での講義はまさに地域・密着の活動である。</li><li>・限られた財政、運営状況の中で、しかもコロナ禍という状況の中においての研究、研修活動は難しかったと思うが、時代の変化に伴う看護教育のあり方、次世代を担う子供たちへの新たな取り組みへの研究研修は必須だと感じる。</li></ul>
-----	--